

安城家の舞踏會 (1947)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 89分

初公開日 1947/09/27

公開情報 松竹

【解説】

吉村公三郎が原作と監督を担当した、名門華族の没落を描くドラマ。新藤兼人はチェーホフの『桜の園』をベースに脚本を執筆したという。

かつて栄華を誇った名門華族の安城家。しかし世界大戦の終結とともに、他の華族と同様、没落の一途をたどっていた。財産を失い、ついには家屋敷までも手放す時を迎えようとしている。当主の忠彦は最後を飾る舞踏会を開催、多くの客が安城家を訪れた。広間で華やかな舞踏会が開かれる。しかし別室では忠彦が、家を抵当に取っているヤミ会社の社長に「屋敷を手放したくない」と懇願し拒否されていた。また、かつて安城家の運転手で今は運送会社の社長となった遠山が、長女の昭子を手に入れるため屋敷を買い取ると言い出した。

【クレジット】

監督 吉村公三郎

製作 小倉武志

原作 吉村公三郎

脚本 新藤兼人

撮影 生方敏夫

美術 浜田辰雄

音楽 木下忠司

出演 滝沢修

森雅之

原節子

逢初夢子

神田隆

津島恵子

清水将夫

日守新一